

令和4年度事業報告書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
NPO法人コロボックル・プロジェクト



1 事業の成果

令和4年度は、計画していた事業を概ね実施することができた。

自然環境（動物）調査により、自然度の高さを示す指標となるムササビやフクロウ、カヤネズミ、ゲンジボタル、ヘイケボタルの生息を確認した。

ホタル類調査では、ゲンジボタルは一日当たりの最大発生頭数が100頭（6月3日）で、令和3年の230頭と比べ大きく減少した。原因は不明であるが、H26年の359頭以降減少傾向が続いている。

ヘイケボタルの最大発生頭数は、27頭（6月28日）で、令和3年（14頭）より増えてはいるものの、ここ5年はH28年の55頭以降減少傾向が続いている。

カヤネズミ調査では、これまで毎回見られていた2か所で見つけることができず、探索範囲を広げても2個しか見つからなかった。この減少の原因がどこにあるのか判断できない。

前年度、モニタリングの必要性を説いた成道寺川に関しては、諸事情により一度も調査をすることができなかった。スナヤツメやドジョウ類、タナゴ類などは、県下全域でその生息環境や個体数が減少していることがわかっており、モニタリングの継続が欠かせない。

同様に、カエル類の調査もできておらず、生息状況が把握できていない。

面積の狭い柿原の迫谷では、花園インター線設置のような大工事だけでなく、重機を用いての川浚い（R4・3）など、小規模な工事でも生態系に大きなダメージを引き起こしている可能性が高い。今後とも生きものに優しい工事について、関係機関と連携を密にしていきたい。

平成20年度の秋より参加しているモニタリング1000里地調査では、特筆すべき発見はなかった。県内各地で増えつつあるアライグマが金峰山山系にも進出してきているため、今後もモニタリングを継続していく必要がある。

なお、生きもの調査に関しては、哺乳類はモニ1000里地調査として、ホタルとカヤネズミについてはコロボックル調査として継続する

調査結果の公開事業のうち、「コロボックル探検隊（生きもの楽校）」では成道寺川流域や里山の生きものについて、『金峰山自然観察ガイドブック～生きもの調査・観察編～』をもとに7回実施し、120名ほどの親子が参加した。

「金峰山学講座Ⅻ」でも9事業のうち中止した2事業（薬草入門、金峰山湧水群巡り）があったが、薬草講座や古道トレッキングなど、自然や歴史・文化などに関する講座7事業に50名ほどが参加し充実できた。

FB・LINEG管理及び広報（報告書）発行は、LINEGを通して参加者募集や報告が事業毎に随時実施でき、FBではほぼ月1回のペースで投稿することができたが、HP再開設はできなかった。

まちづくりの支援事業では、「里・夢プロジェクト（やさい・田んぼの楽校）」として金峰自然農園と柿原自然農園、Kaibara自然農園でのやさいの楽校12、田んぼの楽校4事業、計16事業で、サトイモやジャガイモ、ダイズやソバ、葉物野菜、もち米（稲刈りと餅つき事業に熊本法人会の共催を受けて）の種おろしから収穫、食育まで、地元や地域内外の方々330名ほどが活動して、農業・農村の多面的機能（生物多様性の豊かさ）を感じながら取り組むことができた。

子どもの自然体験活動の支援事業では、計画した2事業（里山キャンプ、カヌー教室）は雨天中止せざるを得ず、次年度も計画したい。

障がい児・者の発達相談事業では、子ども発達支援・相談センターコロボックルとして、新型コロナウイルス感染予防のための中止が多く、1回8名ほどの茶話会や数回のNPO法人ちぼりーの訪問や相互支援の会スマイルハート定例会参加での情報交換に取り組むことができた。

発達支援事業では、動物介在教育チームカイハラとの協働で、第9回やんちゃキャンプを南阿蘇で夏・秋・冬と開催し、新型コロナウイルス感染予防のため三密対応を始め家族ごとの各自テントでの宿泊として、家族での参加26（子ども15・大人11）名で、生きもの共生教育（ワンヘルス：人間・動物・環境の健康は一つ）を充実することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自然環境の調査	動物の調査	通年	金峰山一帯	2人	全国の関係者 27,000人	5
	コロボックル探検隊 (いきもの楽校)	通年8回	金峰山一帯	19人	県内の参加者 120人	38
調査結果の公開	金峰山学講座Ⅻ	通年6回	金峰山一帯	11人	県内の参加者 49人	38
	FB・LINEG管理	通年	ネット上	2人	全国の視聴	0
	広報(報告書)	通年	会員他	2人	会員100人	0
まちづくりの支援	里・夢プロジェクト 田んぼの楽校	通年 4回	Kaibara・ 柿原・ 金峰	19人	県内の参加者 207人	480
	やさいの楽校	12回	自然農園	20人	126人	195
子どもの自然体験活動の支援	里山キャンプ カヌー教室	8・9月 (中止)	金峰山一帯	2人	会員他	0
障がい児・者の発達相談事業	茶話会1回 ※ちぼりーの訪問	7月 他	荒玉地域	1人	障がい当事者・ 関係者8人	3
障がい児・者の発達支援事業	やんちゃキャンプ	7・10・ 12月	南阿蘇	24人	対象児外 26人	192

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	88,000	88,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	0	0
施設等受入評価益	0	0
3 受取助成金等		
受取助成金(子どもの未来応援基金)	100,000	
受取助成金(花園校区自治協議会)	20,000	
受取助成金(公益社団法人 熊本法人会)	329,552	449,552
4 事業収益		
調査結果の公開(探検隊)事業収益①	96,300	
調査結果の公開(金峰山学講座)事業収益②	75,400	
まちづくりの支援(里・夢)事業収益③	164,100	
子どもの自然体験活動の支援事業収益④	0	
障がい児・者の発達相談事業収益⑤	0	
障がい児・者の発達支援事業収益⑥	112,500	44,8300
5 その他収益		
受取利息	1	
雑収入	4,464	4,465
経常収益計		990,317 A
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	0	
臨時雇賃金	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	0	
旅費交通費	82,079	
諸謝金	234,500	
通信運搬費	5,720	
広告宣伝費	0	
消耗品費	548,624	
修繕費	0	
受託費	0	
保険費	40,227	
印刷製本費	28,305	
雑費	11,800	
その他経費計	951,255	951,255
事業費計		951,255
2 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	0	
役員報酬	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	0
(2) その他経費		
旅費交通費	7,500	
通信運搬費	8,387	
印刷製本費	1,802	
消耗品費	55,768	
諸会費	0	
研修費	16,833	
会議費	5,434	
雑費	17,191	
その他経費計	112,915	112,915
管理費計		112,915
経常費用計		1,064,170 B
当期経常増減額		A-B -73,853 C
III 経常外収益		
経常外収益計		0 0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		-73,853 C
前期繰越正味財産額		-97,530 D
次期繰越正味財産額	E=C+D=貸借C・財産C	-171,383 E

令和4年度貸借対照表
令和5年3月31日現在

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金	38,200		
預金	78,500		
.....			
流動資産合計		116,700	
2固定資産			
.....			
.....			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			116,700 A
II 負債の部			
1流動負債			
短期借入金	117,117		
.....			
.....			
流動負債合計		117,117	
2固定負債			
長期借入金	170,966		
.....			
.....			
固定負債合計		170,966	
負債合計			288,083 B
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	活動D	-97,530	E
当期正味財産増加額(減少額)	活動C	-73,853	F
正味財産合計		(A-B) (E+F)	-171,383 C
負債及び正味財産合計		(B+C) D=A	116,700 D

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。
区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあつては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別業として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和4年度)

NPO法人コロボックル・プロジェクト

1. 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	自然環境の 調査事業費	調査結果の公開 事業費		まちづくりの支援 事業費		子どもの自然体験 活動の支援事業 費	障がい児・者の発達 相談事業費	障がい児・者の発達 支援事業費(キャンプ)	合計
		講座	探検隊	たんぼ	畑				
(1) 人件費									
給料手当									0
臨時雇賃金									0
福利厚生費									0
人件費計	0	0	0		0	0	0	0	0
(2) その他経費									
会議費									0
旅費交通費	5,000	4,000	3,000	26,369	21,000		1,000	21,710	82,079
諸謝金		4,000	24,500	146,000				60,000	234,500
通信運搬費					1,320			4,400	5,720
広告宣伝費									
消耗品費		24,335	286	279,660	164,788		1,926	77,629	548,624
修繕費									
受託費									
保険料		5,510	9,308	7,168	6,354			11,887	40,227
印刷製本費			1,097	21,210	1,470			4,528	28,305
雑費								11,800	11,800
その他経費計	5,000	37,845	38,191	480,407	194,932	0	2,926	191,954	951,255
合計	5,000	76,036		675,339		0	2,209	191,954	951,255

借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	170,966	0	0	170,966
短期借入金	0	117,117		117,117
合計	170,966	117,117	0	288,083

役員との取引

理事長借入	288,083	0
-------	---------	---

令和4年度 財産目録

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金(現金手許有高)	38,200		
普通預金(肥後銀行上熊本支店)	67,628		
郵便貯金	10,862		
ろうきん預金	10		
未収金		0	
流動資産合計		116,700	
2 固定資産			
土地			
家屋			
車両			
固定資産合計		0	
資産合計		A	116,700
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	117,117		
預かり金(職員に対する源泉所得税)			
流動負債合計		117,117	
2 固定負債			
長期借入金	170,966		
退職給与引当金			
固定負債合計		170,966	
負債合計		B	288,083
正味財産		C	-171,383

C=A-B :活動計算書E
貸借対照表D